

その人らしい自然な看取りを 目指して

特別養護老人ホーム
和みの郷
澤野 泰智

施設概要

平成14年4月 沼津市大平に開設。
沼津の連山と狩野川に囲まれた豊かな
田園地帯のほぼ中心にあり、天気の良い
日には富士山と遠くに箱根の山々を望む
ことができます。

特養入所者70名が5つのユニットに
分かれ、1ユニット14名の入居者が5
～6名の介護職員と共に生活しています。

これまでの取り組み

主な退所理由（過去5年）

	退所者数	入院退所	病院死亡	施設死亡
平成20年度	15	3	4	8
平成21年度	11	5	1	4
平成22年度	13	5	2	6
平成23年度	19	4	5	9
平成24年度	14	1	3	9

※開所以来90名の方が死亡退所されている

これまでの取り組み

- 看取り指針の作成
- ターミナル委員会
- 看取りの研修
- 偲びのカンファレンス
- センター方式の活用

「偲びのカンファレンス」から

- ・本人の好む食べ物 ↔ 生命維持のカロリー
- ・食べたくない ↔ 食べてもらいたい

「ターミナル委員会」での学び

「その人らしさ」ってなんだろう？
「自然な看取り」ってなんだろう？

- ↓
- <私達が考える「その人らしさ」>
- 今まで大切にしてきたことを継続すること
 - 施設での生活の継続

Aさんの看取りを振り返る

- ★Aさん 女性 95歳 要介護度2
 - ・入所時期 平成14年4月
 - ・ターミナル期間
平成24年11月8日～12月24日
 - ・長谷川式認知症スケール
入所以来24点前後
- ★Aさんのニーズを様々な角度から捉える為
センター方式を使い、ご家族、多職種で
アセスメントした。

センター方式でみえてきたAさん

- ・みんなに好かれたい ・こだわりを持っている
- ・いつでも人の中心にいたい ・頼られたい
- ・人恋しい ・弱みを他人に見せたくない
- ・自分の人生に誇りを持っている
- ・自分の考え方、やり方を持っている
- ・出来るだけ自分でやりたい ・家族に会いたい

チームとして捉えたAさん

自分で決めたことに対して妥協しない人

私の望むこと、したいこと

- ①「サイダーは私にとって
命の水なの」
- ②「宝塚を観に行きたい」
- ③「家族に会えるから
最期まで和みに居たい」

私の望むこと、したいこと

- ①「サイダーは私にとって
命の水なの」
 - ・昔から、三ツ矢サイダーが
好きだった
 - ・食事は吐いても、
サイダーは飲んでいた

私の望むこと、したいこと

- ②「宝塚を観に行きたい」
 - ・娘時代によく観に行っていた
大好きな宝塚をまた観たい
 - ・ターミナルになる前からの計画
11月20日 開演19:00

私の望むこと、したいこと

- ③「家族に会えるから
最期まで和みに居たい」
 - ・家には帰りたくない
 - ・和みの郷に居ればきっと
長女が会いに来てくれる

活動の成果と評価

- ①「サイダーは私にとって命の水なの」
⇒「喉がキュットになっていいの、
息ができるの」
- ②「宝塚を観に行きたい」
⇒「頑張って生きようと思った。
本当に良かった」
- ③「家族に会えるから最期まで和みに居たい」
⇒「忙しいのに
明日も来てくれるって」

活動の成果と評価

- Aさんは自分の命が長くないと理解しつつ、「今」に喜びを感じ、明日に、次の瞬間に、意欲や希望を持ち、生きる為の活力を得ていた。
- Aさんの望むこと、したいことをひとつずつ実現することで、Aさんらしさを支えることができたのではないかと。
- 点滴などをすることもなく、家族に見守られ亡くなられた。Aさんらしい、自然な看取りの支援ができたと考える。

その人らしさって・・・

「その人らしさを操作的に定義することは難しい。何をもちてその人らしいとするかは、アセスメントする側によって異なる可能性がある。しかし、漠然とイメージすることは出来る。」

本間 昭「センター方式の使い方・活かし方」より

Aさんからの言葉

- 「喉がキュッとになっていいの、息ができるの」
- 「頑張って生きようと思った。本当に良かった」
- 「忙しいのに明日も来てくれるって」

その人を理解しようとするのが
その人らしさを支援することにつながる

利用者の状況

認知症高齢者の日常生活自立度 平成25年5月現在

自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
2	2	3	13	16	8	24	2

家族背景（身元引受人） 平成25年5月現在

配偶者	一親等	二親等	三親等	その他
4	42	14	7	3

死亡退所者（看取り）の在所期間（過去3年間）

0～1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3年以上
4	3	5	13

今後の課題

- 自分の言葉で思いを伝えられない
- 身寄りが少ない
- 入所期間が短い



その人らしさを捉えた自然な看取りをしていきたい。

ご清聴ありがとうございました。

特別養護老人ホーム
和みの郷
澤野 泰智